

取扱説明書

【使用目的】

・ヒト DNA 中の特定の遺伝子変異を、本品とデジタル PCR 装置を用いて検出します。

【内容について】

各変異の検出に対応した下記 4 種類のオリゴヌクレオチドを混合・乾燥したものです。

- ・フォワードプライマー
- ・リバースプライマー
- ・ワイルドタイプ DNA 検出用プローブ (HEX 標識)
- ・ミュータントタイプ DNA 検出用プローブ (FAM 標識)



【使用にあたり準備する物品・機材】

- ・DNase/RNase-free distilled water
- ・ピペットマン等の実験器具
- ・デジタル PCR システムと、その消耗品

動作確認済装置は、Bio-Rad 社製 QX200 Droplet Digital PCR system, Thermo Fisher Scientific 社製 QuantStudio 3D Digital PCR system / QuantStudio Absolute Q Digital PCR system です。

【使用準備】

DNase/RNase-free distilled water を 15 μ L 入れ、チューブの底部・壁部に付着しているプライマー・プローブ混合物 (赤紫色) を溶解してください。

【輸送方法と保管方法】

乾燥状態では常温で輸送することができます。受領後は直ちに冷凍庫へ移してください。保管する際は、乾燥状態・水で溶かした後とも -20°C で保管してください。いずれの条件でも遮光してください。

【使用期限】

未開封であっても 2 年以内にご使用ください。水に溶かしてからは 1 年以内の使い切りを推奨します。融解・凍結はある程度繰り返しても問題ありませんが、融解した場合にはボルテックス等でよく攪拌してからご使用ください。

OTS-Probes

【実施例】

<QX200 PCR反応液の調製例>

ddPCR Supermix for Probes (No dUTP)	10 μ L
OTS-Probes	2 μ L
Template + Water	8 μ L
Total	20 μL

<QuantStudio 3D PCR反応液の調製例>

QuantStudio 3D Digital PCR Master Mix v	7.5 μ L
OTS-Probes	1.5 μ L
Template + Water	6.5 μ L
Total	15 μL

<QuantStudio Absolute Q PCR反応液の調製例>

5X Absolute Q Master Mix	2 μ L
OTS-Probes	1 μ L
Template + Water	7 μ L
Total	10 μL

<QuantStudio 3D/QX200 PCR温度条件>

Step	温度	時間	サイクル数
1	95°C	10 min	1
2	94°C	30 sec	40
3	60°C	1 min	
4	98°C	10 min	1
5	4°C	∞	1

<QuantStudio Absolute Q PCR温度条件>

Step	温度	時間	サイクル数
1	96°C	10 min	1
2	96°C	5 sec	40
3	60°C	30 sec	

注1：本品は 15 μ L 入りのため、QX200 では 6~7 アッセイ、QuantStudio 3D では 8~9 アッセイ、QuantStudio Absolute Q では 13~14 アッセイ程度の実施が可能です。

注2：一部の OTS-Probes では、添加薬剤として DMSO や 7-deaza dGTP を使用します。ご使用の OTS-Probes の詳細をご確認ください。

注3：一部の OTS-Probes では、アニーリング温度(Step 3)を 58°Cあるいは 56°Cに変更する必要があります。ご使用の OTS-Probes の詳細をご確認ください。

【使用上の注意】

- ・本品は研究用試薬です。それ以外の用途には使用しないでください。
- ・本文書以外のご使用方法に関しては動作保証をしかねます。
- ・作業環境、使用機器、操作上のコンタミネーションにご注意ください。

【お問い合わせ先】

株式会社クオントディテクト

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2 東京サンケイビル 27 階

TEL：03-3242-3146 / FAX：019-601-2341

MAIL：info@quantdetect.com

『OTS-Probes』は岩手医科大学医歯薬研究所が開発し特許化した技術の移転を受け、株式会社クオントディテクトが開発・製造したものです。